

平成27年度第3回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 平成27年12月11日（金）10時00分～12時00分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局2名
- 4 議事
 - (1) 平成26年度に実施したパブリック・コメント手続の評価及び運用状況について（続き）
 - (2) 平成26年度に実施したパブリック・コメント手続の総合評価について
 - (3) 平成26年度パブリック・コメント制度の運用状況について

- 事務局 <開会>
出席者委員の報告。8名中8名全員の出席で、審議会は成立。
傍聴希望者はなし。
- 会長 前回、平成26年度実施のパブリック・コメント手続11件に個別評価を6件したので、残りの案件5件について、評価を確定していきたい。また、11件全てについての総括的な評価をしていきたい。
- 会長 まず「宝塚市ばい捨て及び路上喫煙の防止に関する条例（案）について」を審議する。
順番に各委員の意見をお聞きしたい。
- 委員 概要は見やすくて分かりやすい。回答も、意見を受けて見直されていて非常によい。
ただ、条例の根本に関わる一番重要なことについて強い反対意見が出ているが、その意見に対する回答が非常に簡単で、まともに答えていない。それらごみの問題にすり替えている。市民はごみの問題のことは言っていないのに、回答がおかしい。市民の声が多くあってこの条例を制定すると言うなら、きちんと説明すべき。市民目線では回答していない。
- 会長 募集要項自体が、「宝塚市空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例」から始まっているのはおかしいと。
- 委員 空き缶と喫煙と一緒にしてある。重要な意見を出している人は、喫煙したい人から出ているわけだから、喫煙に重点を置いて書かないといけない。
- 委員 一般市民が喫煙者に対して言いにくいことを、条例に書いてあると言えるところまで、回答で説明があればよかった。
回答にある「路上喫煙の防止を求める声があることからこの条

例を制定するものです。」の箇所を、もっと丁寧に説明する必要がある。

- 会長 総合評価については、「B」評価でどうか。
- 委員 (全員同意)
- 会長 次の「ゴールドプラン2 1 宝塚『宝塚市高齢者福祉計画・第6期宝塚市介護保険事業計画』(素案)について」を審議する。
- 委員 まず、提案をしている人に対して、直接の答えをしていない。一般論でごまかして逃げてしまっていて、回答姿勢そのものに非常に問題がある。具体的な提案に対して、もう少し説得的な答えが必要である。
- 委員 警察や行政はいろいろな取り組みをされているが、回答には実際の行政の動きが書かれていない。
- 委員 概要の表現が、市民に視線を移した表現ではない。もう少し具体的に、納得できるような表現をしてほしい。一方、基本方針は見た目にも飛び込んできて、表現としてとても良かった。
ただ、提出された意見に対して直接答えていなくて、通り一遍に答えているのがあまりに多かった。
- 委員 今まで形式が整っているかという点で評価してきたので、今回の評価でいくと、結果回答についてかなり詳細な内容的把握をした。よって、回答の内容に入ってきていることが、評価においてマイナス要因になったのかと思う。ただ、意見募集については非常に良かったし、制定過程も結構書けている。このような難しい内容のものをうまく整理して概要を作っているのは、評価できる。
- 会長 判定基準に書いてある「条例・指針を守っていない部分があるか」と言えば、守っている。だけど、工夫改善の余地がある。だから、「D」には該当しない。でも、回答が非常に抽象的で、問いかけている人に対する納得のいく答えを返すという努力が足りなさすぎる。となれば、「C」となるか。
- 委員 総合的に「C」を付けると、普通で可もなく不可もなく程度の手続きとなり、受け取る側としては「こんなものでいいのか」と受け取るのではないか。そうすると、改善がほとんどなされないという想定ができるので、「C」ではなく「D」とするとか。この評価で「C」だと、担当部署は改善をされないような気がする。
- 会長 総合評価の基準を変えようか。この数年でようやく形式が整ってきたので。
- 委員 この本体を見て、よく分析できていると感じた。この能力はとても評価できる。そうすると、このような立派なデータを出してく

れば原因がはっきりして、答えがもっと具体的に出てくるはず。ところがこのような答えになっているから、これは直さないといけない。

○会長 この基準の中身を、「条例・指針を守っていない部分が一部あるか、又は、工夫改善の余地が大きくある」と変えれば、「D」にできる。パブリック・コメントというのは、コメントをくださいと言っているわけだから。コメントに対してどう回答するかというのも問われるというところに入っていくと、「D」にできる。

○会長 総合評価基準の「D」のところ少し文案を加えて、この案件の総合評価については、「D」評価でどうか。

○委員 (全員同意)

○会長 次の「宝塚市新型インフルエンザ等対策行動計画（案）について」を審議する。

○委員 市民がこの計画で守られているのだな、何かあった時には守られるのだなという思いを持ったと地域の人から聞いて、パブリック・コメントの意見提出がないということが悪いことではないと感じた。意見がないからと言って中身がだめということには繋がらないので。この計画で、行政が市民の命と健康を守るために、何かあった時には一生懸命やってもらえると、市民が安心できたらそれでいいと思った。

○委員 本文の市行動計画の策定に、「平成21年に策定し、今回はその計画を改定する形で取りまとめたもの」とある。それに対し、意見募集要項には改訂とは一切書いておらず、意見募集の目的にも策定と書かれている。これは見る人にとって誤解を与える。

○委員 これにはマニュアルがあって、マニュアルどおりにしているから齟齬が出てきている。さらに、きちんと経過を記載して、本当に意見を求めるという熱意が感じられない募集要項になっている。

○委員 初めは対策の策定で、その次が行動計画。だから行動に移す場合の計画ということでこのような形になったと読んだので、分かりやすかった。

○委員 マニュアルどおりというのが、すごく役所的だと感じた。この案件の回答は、他と比べて最も役所らしい。

○委員 国が作って、県が作って、市へ下りてきたという目で見ると、中身がすごく良くできている。ただ、新型インフルエンザが蔓延した時に市だけで対応できないので、近隣市町との連携なども書いてあればよかった。

○委員 こういう類のものは、やはり国が大きく押さえて、それを下に

しっかり守らせるということが重要であるから、このような書き方になったのではないか。

○会長 内容的には非常に緻密で齟齬はない。ただ、国が言っているからといって、同じような文章にしておく必要はない。図解やフローチャートを入れてもいい。流れをもう少し本文に書いた方がよかった。

○委員 経過や募集内容について、説明が足りない。一番大事な募集の仕方がよくなかった。

○委員 改訂と示すならば、どこをどう変えたか、改訂したポイントは何かを明記して、それに対して今回意見を求めるべきでなかったか。

○会長 形式的には整っている。内容に立ち入ることができる程度まで「D」の基準を書き加えたが、形式的には努力しているし、そこは評価している。ただ、パブリック・コメントというのは、市民と行政との情報共有のためのツールであって、もっと行政に協働で参画してもらうためのツールだから、コメントをもらいたいという熱意が欲しい。

○会長 総合評価については、「C」評価でどうか。

○委員 (全員同意)

○会長 次の「宝塚市文化芸術振興基本計画(案)について」を審議する。

○委員 宝塚市が今、文化都市であると言われているが、1,000人規模の文化ホールや歴史博物館等がない中で、基本計画案の文化芸術振興の現状に、活動場所の確保が難しいと書いてある。そういう意味から、元々計画に差があるのではないか。資料としては分かりやすく書かれているが、真正面から受け止めて回答していないのではないか。

○委員 意見募集の計画(案)のあらましに、現状、課題、展開とあり、展開の方向性として一番に活動拠点の充実や既存施設の改修と書いてある。これはいわゆるハコだが、現状では特徴を生かし切れていないとか連携が希薄であると書かれていて、順序が逆なのではないか。一番に「ともに楽しむ」、二番目に「支える」、三番目に「教育(子ども達への配慮)」、そして「発信する」をもっとやらないといけない。結果、回答を見ていると、ハコを造ってほしいという意見に対し、慎重な議論を要するという、具体性に欠ける答えをしている。財政状況なども回答に入れればもう少し納得させ得るのではないか。ただ、はっきり答えている回答もあり、

これはとてもいい。

○委員 意見に対して抽象的な回答が多い。もっと市民等からの意見に対してまともに答えるべき。一般論で逃げているのは、不誠実な回答である。役所的な回答は改善してほしい。ただ、他ではずいぶんたくさん意見を取り入れて改訂しているので、全体としては非常によい。

○会長 いずれにしても形式的には整っている。ただ、先ほどの基準に照らすと「C」になるが。

総合評価については、「C」評価でどうか。

○委員 (全員同意)

○会長 次の「宝塚市障害福祉計画（第4期計画）(案)について」を審議する。

○委員 障がいのある人やその人に寄り添う人達を読んだら満足はするだろうが、説明は、一般市民や地域の活動者にとっては実際はそんなものではないということが多いので、意見が出しにくいのではないか。

○委員 結果公表の「市民等からの意見の採否及び理由」に、採否をはっきり明記しておらず、理由も全く書いていない。これは非常に分かりにくい。また、回答も、関連法律や全体を知っている人でないと理解できないのではないか。普通の分かりやすい文章を書いてほしい。

○委員 この意見を出された方はよく理解されている方だと思う。市は、その採否及び理由について、記載して修正したと答えている。これはきちんと答えていると思う。見直し結果も具体的に書かれているので、この表現は妥当である。

○会長 パブリック・コメントの手続きとしては、一部工夫の余地がある、工夫の欲しい部分もあるが、評価できる点もある。

○委員 審議会の中の小委員会で非常に議論をされたと聞いている。そこで出た意見がこの計画案の中に入っているから、意見が一つしか出ないくらいの内容になっているのではないか。小委員会の構成委員も、自治会や民生委員などがおり、市民の意見が出やすい状況にあったのではないか。

○会長 小委員会で何回も検討しているから、逆にパブリック・コメントが出にくかったのかもしれない。形式的には整っているが、回答に工夫の余地があるという点で、総合評価については、「B」評価でどうか。

○委員 (全員同意)

